三菱重工

COMPANY GUIDE

MOVE THE WORLD FORWARD

MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP

三菱重工業株式会社

本社

■ **丸の内**

〒100-8332　東京都千代田区丸の内 3-2-3

■ **横浜**

〒220-8401　神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-3-1

www.mhi.com/jp

三菱重工　新卒採用　検索

詳しくはこちら

2022年1月発行

地球をステージに、夢をかなえる仕事

地球上の皆が快適に、安全で、笑顔で暮らせる社会。その夢を現実に変えるために、
私たちは常に最先端のものづくりを通して、社会の進歩に貢献してきました。
この会社で働くということ── それは、あなたの夢が現実を動かす力を信じるということ。

ものづくりへの情熱と責任、そして誇り。
私たちの「役割」と「使命」が、
豊かな未来を創造すると信じています。

三菱重工グループは、ものづくりとエンジニアリングのグローバルリーダーとして、民間航空、輸送、発電所、ガスタービン、機械、インフラから、防衛・宇宙システムにいたるまで、陸・海・空、そして宇宙という幅広いフィールドをステージに活躍する企業です。長年にわたる豊富な実績とノウハウを駆使して世界中のヒトとモノを結びつけ、よりよい未来のために貢献したいと日々情熱を注いでいます。刻々と進化する時代の中で、自分の日常の仕事がダイナミックに世界とつながっている。そんなスケールの大きな達成感と誇りは経験した人だけが味わえるもの。さあ、あなたも三菱重工グループの一員として、ともに未来に歩んでいきませんか。

陸、海、空、そして宇宙まで。
広範な事業領域から世界中の人々の暮らしに貢献しています。

エネルギー・環境関連

エナジードメイン
- 火力発電プラント
- 舶用機械
  三菱重工マリンマシナリ(株)
- 航空機用エンジン
  三菱重工航空エンジン(株)
- コンプレッサ
  三菱重工コンプレッサ(株)

原子力セグメント
- 原子力発電プラント

基盤産業
(プラント・インフラ等)

プラント・インフラドメイン
- 船舶
  三菱造船(株)
- エンジニアリング(化学プラント・交通システム等)
  三菱重工エンジニアリング(株)
- 環境設備
  三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)
- 製鉄機械
  Primetals Technologies Limited

物流・冷熱・ドライブシステムドメイン
- 物流機器
  三菱ロジスネクスト(株)
- エンジン・ターボチャージャ
  三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株)
- サーマルシステム
  三菱重工サーマルシステムズ(株)

機械システムセグメント
- 機械システム
  三菱重工機械システム(株)

航空機・防衛・宇宙事業

防衛・宇宙セグメント
- 航空機・飛昇体
- 特殊車両
- 艦艇・特殊機械
- 宇宙

民間機セグメント
- エアロストラクチャー
- 民間航空機
  三菱航空機(株)
  MHI RJ Aviation ULC

シェアードテクノロジー部門
知的財産部、総合研究所、ICTソリューション本部

本冊子記載の情報は、2021年10月1日現在のものです(P19-20は除く)。

社会の抱える課題を自分で探し出す。
そこに面白さを見出せる人材が次の時代を拓く。

SEIJI IZUMISAWA
泉澤 清次　取締役社長 CEO
[1981年入社]教養学部卒業

プラントシステムをつくるスケールの大きい仕事に憧れて。

私自身の経験を振り返ると、就職活動とは「自分が純粋にどんなものに魅力を感じることができるのか」を知る場ではないかと思います。私は学生時代に固体物性を専攻していましたが、正直勉強はそこそこで、部活動に明け暮れた生活を送っていました。就職活動に際しても専門を活かすことにこだわったわけではなく、純粋に、重厚なプラントシステムをつくる仕事に憧れていました。そのスケールの大きさに、仕事としての魅力を感じていたのを覚えています。

三菱重工へ入社したのは1981年。私は、三菱重工グループのどの製品にも共通利用できる要素研究に関する事務局に所属し、研究テーマやその技術が生み出すリターンの取りまとめなどに従事しました。1985年からの神戸造船所時代には、「きぼう」の開発や、打上げに関わる運用、搭乗員の訓練などのプロジェクトに参加し、宇宙試験の利用運用計画の立案を担当しました。その後は本社の技術企画部に移り、製品のシーズ探索や、研究所での成果を事業に繋げる活動などに従事。今、こうして自分のキャリアを振り返ると、私は全社的な技術要素を把握しつつ、それをどう事業に活かすかを考えながら、一つひとつ経験を積み重ねてきたように思います。

人と技術こそが三菱重工グループの強味。

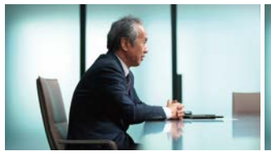
こうしたキャリアを通して強く感じるのは、幅広い技術と人こそが三菱重工グループの強みだということです。課題に対してグループのどこかに答えや事例がある。加えて、ハードウェアに関わる先駆的存在であり続けていることも当グループの特徴と言えるでしょう。お客様のニーズに応えるため、私たちは常に技術を磨き、あらゆる製品を開発してきました。人材と技術の厚みを基盤に、お客様や社会が求めるモノにチャレンジし、まだ見ぬ新しいものを生み出していく。それは、三菱重工グループに刻まれたDNAともいえるもので、今後も変わることはありません。

ハードウェアの提供にとどまらず、もう一歩踏み込んだ、価値創造を。

これからの三菱重工グループのミッションは、社会が抱える課題に対して、グループが持つ技術やリソース、ネットワークを駆使してソリューションを提供することだと思っています。重要なのは、ハードウェアの提供にとどまらず、いかに付加価値をつけるか。そのためには、アフターサービスやメンテナンスも含め、ビジネスの幅を広げる必要がある。たとえば現在、三菱重工ではロケットの製造だけでなく、何月何日、何時何分何秒に打ち上げるという打上げサービスまでを請け負います。私たちが提供すべき価値とは、必要な時間、必要な軌道に衛星を乗せることです。今後は、お客様の課題を解決するソリューションの提供が主流になるでしょう。

課題を見つけ出し、それを楽しむ人材が求められる。

こうしたソリューションを提供するためには、多くの個性に溢れた人材が必要です。従来から三菱重工グループは、真摯にものごとに取り組む人材を高く評価してきました。時代の求めるニーズが変わっても、求める人材の基本的要件が変わるわけではありません。さらに今後は社会の課題、お客様の困りごとに対して自ら問題を探し出せる人、そこに面白さを見出せる人を歓迎したい。与えられた課題をただ解くのではなく、自分で課題そのものを見つけ出す。課題がはっきりしていないことを不安がるのではなく、そんな状況にむしろワクワクする。そうしたことができる人材が、これからのビジネスには必要です。三菱重工グループでは求める人材像として「Active」「Balanced」「Creative」を掲げています。まさにこうした資質を持つ人こそ、自ら課題を見つけ出すことに面白さを感じられる人材だと考えています。ぜひ三菱重工グループでその資質を開花させてください。

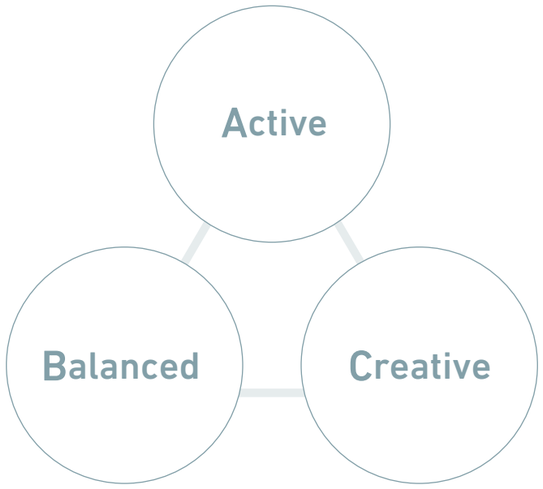


■三菱重工グループの求める人材像

未来に挑戦する意欲的な人材を求めています。

三菱重工グループは幅広い分野で最適なソリューションを提供しています。
どのステージでも“自ら課題を探し出すことに面白さを感じられる人材”が必要です。
未来を目指して挑戦し、社会に貢献するために、あなたの力を発揮してください。

三菱重工グループが求めるABCの人材像



Active

責任感にあふれ、情熱を持って最後までやり遂げる人材

三菱重工グループの一員として、若手のうちからビッグプロジェクトを任されるケースも少なくありません。難しい状況にあっても明るく前向きに、自身で目標を掲げてアクティブに取り組む意欲と責任感が必要です。

Balanced

互いの価値観を尊重し合い、バランス感覚に優れた人材

多くの社員がかかわるプロジェクトの現場では、互いの考え方やさまざまな意見も踏まえて柔軟に対応できるバランス感覚も重要です。海外のプロジェクトでは異文化を理解し尊重したコミュニケーション力も問われます。

Creative

柔軟な発想で自ら考えて行動し、新しい価値を生み出す人材

お客様のニーズを的確につかみ、応えていくには創造力と提案力が欠かせません。「日本初/世界初」の製品を多数生み出してきた企業精神を受け継ぎ、従来の価値観に捉われず未知の領域へ果敢にチャレンジする志が大切です。

■三菱重工グループの企業理念

社業を通じて社会の進歩に貢献する、という使命

創業から130年以上の長い歴史の中で、ずっと受け継がれ、変わらない精神。
それは、社会の進歩に貢献し、人々の暮らしに寄与したいという強い使命感です。
同じ思いを共有する仲間とともに、よりよい世界を目指して進み続けます。

三綱領

第4代社長である岩崎小彌太によって制定された三菱グループの経営理念です。
三菱の歴史の中で、連綿と引き継がれてきた精神を表したものです。

昭和初期制定

所期奉公（しょきほうこう）
期するところは社会への貢献
事業を通じ、物心共に豊かな社会の実現に努力すると同時に、かけがえのない地球環境の維持にも貢献する。

処事光明（しょじこうめい）
フェアプレーに徹する
公明正大で品格のある行動を旨とし、活動の公開性、透明性を堅持する。

立業貿易（りつぎょうぼうえき）
グローバルな視野に立つ
全世界的、宇宙的視野に立脚した事業展開を図る。

社　是

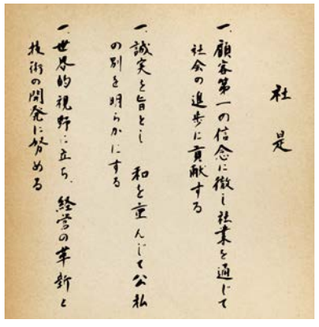
三綱領の精神を引き継ぎ、三菱創業100周年に制定されました。
会社の基本的態度、従業員の心構え、将来社会の志向すべき方向を表現しています。

昭和45年6月1日制定

■顧客第一の信念に徹し、
社業を通じて社会の進歩に貢献する。

■誠実を旨とし、和を重んじて
公私の別を明らかにする。

■世界的視野に立ち、
経営の革新と技術の開発に努める。



社是（牧田社長直筆）

社是制定趣旨

当社の発祥は遠く明治3年（1870年）に遡（さかのぼ）るが、当社の今日あるのは偏（ひと）えに創業者岩崎彌太郎を始め歴代の経営者、従業員のたゆまぬ努力の所産である。これら諸先人の残された数々の教訓は今なお我々の脳裡に刻まれているが、今これらの先訓を思い起こし、当社の将来への一層の飛躍に備え、伝統ある当社にふさわしい社是を制定せんとするものである。このたびの社是の文言は直接には第四代社長岩崎小彌太の三綱領―所期奉公、処事光明、立業貿易―　の発想に基づくものであるが、さらにこれを会社の基本的態度、従業員のあるべき心構えそしてまた将来会社の指向すべき方向をこの三つの観点から簡明に表現したものである。時あたかも三菱創業百年を迎え、激動する70年代の幕開けに際し、当社は時勢に応じ、絶えず新しい意欲を持って前進したいと思う。ここに新たな感覚を盛込んだ社是を制定する所以（ゆえん）である。

エネルギーを生み出す製品と環境関連事業

まさに地球を動かす“心臓部”ともいえる、パワフルな部門です。
この瞬間も、世界中のどこかで、三菱重工グループが創り出すエネルギーがあらゆる産業を支え、
息づく地球に多様な動力を送り出し、人類の暮らしを豊かにするために貢献しています。
ダイナミックなプロジェクトに関わる充実感と、エキサイティングなものづくりが体感できます。

ガスタービン　三菱重工業（株）

多様なエネルギーインフラの提供で持続可能な社会に貢献

エナジードメインでは、高い発電効率を誇り、環境負荷の低減に寄与する「火力発電」、再生可能エネルギーを活用した「洋上風車」や「地熱発電」などの発電システムで、バランスのとれた質の高いエネルギーインフラを提供しています。さらに、大気汚染物質の排出を大幅に抑制する「総合排煙処理システム」、低燃費・低騒音の最新型航空機エンジン、石油化学分野でトップシェアを持つコンプレッサなど、多岐にわたる製品を扱っています。
原子力セグメントでは、「原子力発電」の設計・製作・建設・保守、「核融合炉」の開発などに携わっており、低炭素化社会の実現に貢献しています。
グローバル社会において低炭素化・脱炭素化が求められる中、地域や産業ごとに異なるニーズを反映しながら、持続可能な社会の実現を目指します。

総合エネルギーカンパニーとして世界トップレベルの技術で挑戦

三菱重工は、各種発電システム・環境技術分野で世界トップレベルのメーカーです。環境性と経済性、信頼性を兼ね備えたエネルギーソリューションを世界各国に提供しており、ガスタービンや排煙脱硫装置などのエネルギー・環境関連機器で世界トップクラスの市場シェアを獲得しています。
世界最高水準の発電効率64%を超える「ガスタービン複合サイクル発電」をはじめ、水素やアンモニアなどカーボンフリー燃料の発電分野への導入にも取り組んでおり、例えば、水素については、2025年に「水素ガスタービン」での100%水素専焼実現に向けて開発を進めています。さらに、ハード技術のみならず、AI/IoT技術を活用したデジタルソリューションによる運転・メンテナンスの効率化提案を展開しています。さまざまな革新的な技術によって発電時のCO_2排出量を削減し、カーボンニュートラル社会の実現に向けて挑戦を続けていきます。

三菱重工グループの仕事 “こんなところ”で！

1分たりとも、電気のない世界は想像できない！
皆の幸せを支えるエネルギー事業の心意気

直接目に触れる機会は少ないけれど、私たちの製品や技術は多様な設備やエネルギーにカタチを変えて、世界中の人々の暮らしを支えています。
家庭の電気も、百万ドルの夜景も、未来のあなたが灯す明かりかもしれない。

●火力発電システム

三菱重工業（株）
ガスタービンコンバインドサイクル発電プラント（GTCC）／
GRDA社 グランドリバーエネルギーセンター

●コンプレッサ

三菱重工コンプレッサ（株）
工業プラント用大型コンプレッサ

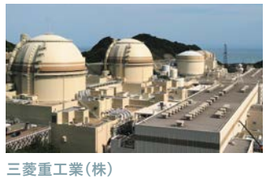
●航空機エンジン

三菱重工航空エンジン（株）
民間旅客機用エンジン

●舶用機械

三菱重工マリンマシナリ（株）
MET過給機

●原子力



三菱重工業（株）
加圧水型原子力発電プラント／
関西電力（株）大飯発電所

「安心して暮らせる豊かな社会」を創造する事業

プラント・インフラドメインは、確かな技術力、信頼できる製品、そしてエンジニアリングの力で、
世界中のさまざまな社会的課題に取り組んでいます。大規模な化学プラント、最先端の交通システム、
循環型社会を実現する環境設備、環境に優しい船舶、産業を支え技術革新を生み出す製鉄機械は、
世界を舞台に、私たちの暮らしと社会を支え、確かな未来を築きます。

シンガポール チャンギ国際空港APM　三菱重工エンジニアリング（株）

エンジニアリングがつなぐ確かな未来

エンジニアリングとは、個々の技術やシステムを組み合わせて、より大きなシステムを構築し、新たな付加価値を付けて具現化する活動です。その活動には、巨大プロジェクトをまとめるEPC（設計・調達・建設）に加え、その上流・下流（事業投資やO&M（運転保守管理））の事業も含まれています。化学プラント分野では、衣類用の合成繊維プラント、穀物などの化学肥料を製造するプラント、住宅建材用の接着剤や塗料の原料となるメタノールを製造するプラントなどを建設し、世界の“衣・食・住”に貢献。交通システム分野では、各国の歴史に残る交通システムの構築、遠隔状態監視サービスなどを活用したO&Mにより、人々の快適な移動をサポート。また、燃焼排ガスからCO_2を回収する技術*を用いたCO_2回収プラントは、業界トップの納入実績を誇ります。さらに、バイオマス発電によるCO_2回収・貯留の実証実験にも参画中。このほか、都市ごみを資源として発電するごみ焼却発電設備を国内外に数多く展開するなど、低・脱炭素社会の実現に貢献しています。

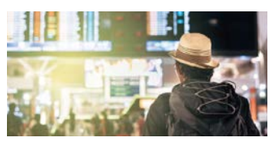
＊関西電力株式会社と共同開発した燃焼後排ガスからのCO_2回収プロセス

海事産業に貢献する船舶・海洋と産業を支える製鉄機械

船舶・海洋では、従来からのものづくりを主体とした造船に加え、造船を基盤とした関連技術、および三菱重工グループの総合技術による海事エンジニアリングをもって、国内外の海事産業の発展に貢献。世界の海を舞台に、確かな技術力で未来を創造していきます。

広範な産業とものづくりを支える製鉄機械は、製鉄・非鉄金属のすべての製造工程において最先端の生産ソリューションを提供し、世界各国で幅広い分野の産業・製品の進化をサポートしています。

三菱重工グループの仕事 “こんなところ”で！



刻々と変わる時代の課題への挑戦と、
新しい感動を創るパイオニア精神

130年前、日本で初めての鉄製汽船を創ったパイオニア精神は、快適な海の旅を支えるフェリーや、空港や街の交通システムへ、時代を越えて引き継がれてきました。この精神を受け継いで、次の新しい未来を拓くのはあなたです！

●化学プラント

三菱重工エンジニアリング（株）
肥料プラント（メタノール併産アンモニア・尿素プラント）／ロシア・タタルスタン

●交通システム

三菱重工エンジニアリング（株）
ドバイメトロ

●環境設備

三菱重工環境・化学エンジニアリング（株）
ごみ焼却発電施設

●商船

三菱造船（株）
フェリー らべんだあ

●製鉄機械

Primetals Technologies Limited
熱間圧延機

新たな社会をカタチづくる多様な製品を扱う事業

快適で便利な暮らしを支える物流・冷熱・ドライブシステム事業と、
社会インフラに関わるありとあらゆる分野で、さまざまな技術・製品を扱う機械システム。
高度なテクノロジーや豊富な経験と実績を背景に、世界中の人と人、人と社会をつなぎながら、
豊かな暮らしと社会の発展を支え、次の時代の新たな社会基盤を築きます。

ディーゼルエンジン S16R2シリーズ　三菱重工エンジン＆ターボチャージャ(株)

人と環境にやさしい技術とサービス
物流・冷熱・ドライブシステム事業

物流機器は、世界中に広がる生産・販売ネットワークを通じて、それぞれの国と地域に適したソリューションを提供。現場の多様な課題を解決して物流の新たな未来を創ります。サーマルシステムは、家庭からビル、工場、地域冷暖房まで、地球環境に配慮したサーマルソリューションで、エネルギー効率の高い快適な空間を創出。エンジンは、さまざまな機械の動力や、電力を創り出す発電システムの心臓部として暮らしを支えます。電気が届かない地域にも給電できる、再生可能エネルギーと組み合わせた分散型発電システムも積極的に推進中。ターボチャージャは、世界的な環境規制強化への対応によって進む自動車のパワートレインの多様化に、世界トップクラスの技術力と開発力で応えます。いずれも環境保全の高まりから今後ますます注目される分野です。

身近な劇場、スタジアムの設備から
産業基盤を支える広範な機械システム

三菱重工機械システムが扱う製品とサービスは、実に多種多様に渡ります。ITS(高度道路交通システム)は、ETCやERPシステム*など、多彩なソリューションを組み合わせ、交通渋滞などの課題に対してスムーズな道路環境や移動シーンを実現。機械装置では、センターレス観覧車やスタジアムの開閉屋根、劇場やスタジアムの可動設備などでアミューズメントシーンを演出したり、各種設備の安全性を検証する試験装置や油圧機械などを提供します。鉄構プラントは高層煙突やガスホルダ、特殊鉄骨などの構造物に対応。人と車に優しいパーキングや、「食の安全」を重視した食品包装機械、省エネとエコロジーを追求したタイヤ機械や、輪転機・紙工機械など、いずれもお客様のニーズに合わせた最適な製品を提供し、産業全体をサポートしています。

＊Electronic Road Pricing システム：電子式道路課金システム

三菱重工グループの仕事 “こんなところ”で！

日常の“あたりまえ”を支える
社会を快適に動かす縁の下のスペシャリスト

たとえば今朝の新聞が届くのも、それを印刷する巨大な新聞輪転機のおかげ。
ペットボトルのジュースが飲めるのも、中身を充填する機械がなければならない。
いつかあなたが私たちの手掛けた観覧車でプロポーズをするのも夢物語じゃない。

●物流機器

三菱ロジスネクスト(株)
レーザー誘導方式無人フォークリフト

●ターボチャージャ

三菱重工エンジン＆ターボチャージャ(株)
ガソリン用板金エキマニ一体型ターボ

●サーマルシステム

三菱重工サーマルシステムズ(株)
店舗用パッケージエアコン

●機械システム

三菱重工機械システム(株)
文化・スポーツ施設(さいたまスーパーアリーナ)

●機械システム

三菱重工機械システム(株)
高度道路交通システム

●印刷機械

三菱重工機械システム(株)
新聞用オフセット輪転機
「DIAMONDSPIRIT」

陸・海・空・宇宙の安全・安心を守る事業

自分が携わったジェット旅客機が大空を飛ぶ時、ロケットの打上げが成功した時、
「言葉では言い表せないぐらい感動的だ！」と先輩社員は語ります。
国家プロジェクトレベルで社会に影響を与え、多くの人々の安全に貢献できるという
他では味わえない感動で身震いするような達成感、責任感のある仕事がここに！

H-ⅡAロケット向けLE-7Aエンジン　三菱重工業（株）

安全・安心に暮らせる社会の実現・維持に貢献

防衛・宇宙事業は、最先端技術を活用し、社会の安全・安心に貢献する製品・サービスを提供しています。防衛事業では、国の要請に基づいて戦闘機やヘリコプタ、ミサイル、艦艇、戦車など、数多くの防衛装備品の開発・生産・運用支援に携わっています。また、当社がこれまで防衛事業で培ってきた先端技術を用いて、サイバーセキュリティ、無人機利用、衛星データ分析などのデュアルユース事業にも取り組んでいます。宇宙事業では、日本の宇宙開発の初期からロケット製造の中心的役割を担っており、当社はロケットの製造から打上げまでを一貫して担う世界でも数少ない企業です。現在、次世代の世界標準に対応するH3ロケットの開発を行っています。

グローバルな航空機事業を構築し世界の人々に快適な空の旅を

航空機事業では、ボーイング社、ボンバルディア社など世界有数の航空機メーカーに、民間航空機の主要構造である胴体や主翼、扉などを供給。完成航空機メーカーに対して直接部品を提供する民間機構造パートナー会社（Tier 1）として、世界屈指の規模や技術力を誇ります。部品製造から構造組立までの一貫製造を通して生産性の向上などを図るとともに、信頼性の高い技術によって、世界中の人々に快適な空の旅を届けていきます。
さらに、ボンバルディア社から承継したCRJ（カナダエア・リージョナル・ジェット）事業においては、世界トップクラスの航空機の保守・修理・オーバーホールに加え、エンジニアリングからカスタマーサポートに至る一連の機能を確保し、北米を中心にグローバルな航空機事業を構築しています。

●航空機

三菱重工業（株）
F-2戦闘機

●特殊車両

三菱重工業（株）
10式戦車

●艦艇

三菱重工業（株）
護衛艦 あさひ

●宇宙

三菱重工業（株）
H-ⅡAロケット

●民間航空機

MHI RJ Aviation ULC
CRJ

三菱重工グループの仕事 “こんなところ”で！

人工衛星による宇宙利用で日常をもっと便利に

測位衛星、気象衛星、災害監視や地球環境を観測する衛星、ISS（国際宇宙ステーション）へ物資や機材を届ける宇宙ステーション補給機「こうのとり」（HTV）などを、宇宙の軌道へ正確に運んでいるのが三菱重工のロケットです。地球ではできないことを宇宙から可能にする、壮大なミッションにあなたも一緒に取り組んでみませんか？

さまざまな専門家が集結する、会社の“頭脳”

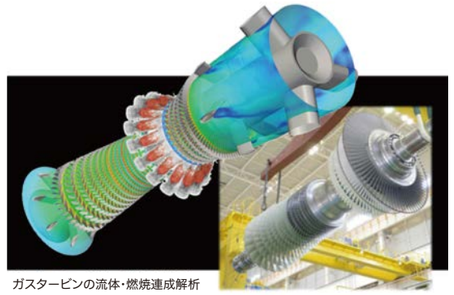
ものづくりの現場に最新の技術をシェアし、三菱重工グループ製品を根幹から支える専門家たち。
まさに会社の頭脳集団です。事業や製品を守り、新たな価値へと進化させて国際競争力を高めていく。
過去、現在、そして未来のものづくり全体に関わるチャレンジングな部門なので、
多種多様な製品に携われるのが魅力！　学部・分野問わず意欲のある方をお待ちしています。

グローバルに活躍する知的財産部

市場に出る製品は、発明・アイデアを保護する「特許権」はもちろん、デザインを保護する「意匠権」や、当社製品の信頼を示すマークやブランド名などを保護する「商標権」などで多面的に守られています。知的財産部では、それらの知的財産権（知財権）を駆使して、三菱重工グループの多彩な事業と製品を守る役割を担っています。さらに、事業・研究開発戦略と一体となった、グローバルな知財戦略の立案などにも力を注いでいます。

技術にプライドと責任を、総合研究所

先人が積み重ねてきた技術をさらに革新し、製品性能の向上やバリューチェーン強化に向けた研究開発を、全事業横断し取りまとめています。物流や電化など新しいジャンルにも率先してチャレンジ。また、世界中の大学や企業、ＣＯＥ（世界トップレベル研究拠点）と連携して、常に最先端の知識を取り込める環境が強み。各方面での世界No.1を目指し、高度な解析技術と大規模試験設備を駆使しながら研究開発を推進しています。


ガスタービンの流体・燃焼連成解析

製品をもっと賢く。ＩＣＴソリューション

三菱重工グループのあらゆる製品に、ＩＣＴ（情報通信技術）で新たな「知性」を吹き込み、「製品をもっと賢く」するのがＩＣＴソリューション本部。ＡＩやＩｏＴの進化によってもらたされるデジタライゼーションを活用して、個々の製品の技術・開発手法を統合・共有し、新たな付加価値を生み出して競争力強化を図っています。プラント計装制御や道路交通の高度化など、国内外の大規模なプロジェクトにも取り組んでいます。

あなたの仕事が、グループの製品を飛躍・進化させる！

５００もある三菱重工グループ製品のすべてがターゲット。
知財戦略と技術力で世界に打って出よう！

バラバラに存在していた製品が、知財戦略とネットワークで相互につながる時、
目の前で新しい価値が生まれ、世界に次世代の可能性を創出させる。
知性を持つコンピュータも、クラウドでつながるスマートシティも、もはやＳＦではない。

革新的な未来を創造する三菱重工グループの取り組み

変化を続ける社会の中で地球規模の課題に挑む

三菱重工グループは、長年培ったエナジー技術やものづくりの技術を進化させるとともに、
カーボンニュートラル社会の実現に向けた「MISSION NET ZERO」の旗のもと、
未来の新たな価値の創造に挑戦していきます。

私たちはカーボンニュートラルを目指す世界の潮流をリードしています。

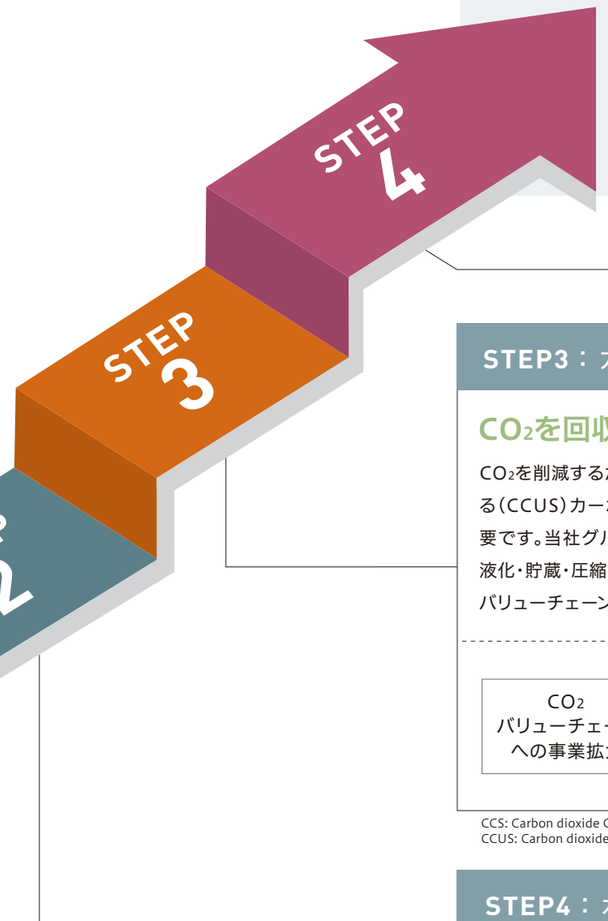
ネットゼロカーボンの達成

三菱重工グループは、日本政府や主要国が掲げた2050年の目標をさらに早めた2040年に、当社グループの事業全体でCO_2排出ゼロを目指す「MISSION NET ZERO」宣言をしています。

CO_2排出量の削減目標

目標年	Scope1,2 三菱重工グループのCO_2排出削減	Scope3+CCUS 削減貢献 バリューチェーン全体を通じた社会への貢献
2030年	▲50%（2014年比）	▲50%（2019年比）
2040年	Net Zero	Net Zero

※Scope1,2：算出基準は、GHGプロトコルに準じる。
Scope3　：算出基準は、GHGプロトコルに準じる。但しこれに独自司指標のCCUSによる削減貢献分を加味。



STEP1：火力発電の脱炭素化・原子力によるCO_2削減

最先端のエナジー技術で脱炭素に貢献

カーボンニュートラルの鍵を握る発電部門において、当社グループの大きな強みである技術開発力を活かし、火力発電の高効率化や水素・アンモニアなどのカーボンフリーな燃料の導入を推進。安全を確保した原子力は、ベースロード電源としてエネルギーセキュリティにも貢献します。

火力発電の高効率化・高度化	◆高効率化と水素／アンモニア導入でCO_2を大幅削減 ◆大型発電設備での調整力強化、BESS等の活用により再エネ拡大をサポート
原子力によるCO_2削減	◆既設プラントの再稼働、次世代軽水炉により発電分野のCO_2排出を大幅削減 ◆高温ガス炉による大量かつ安定的なCO_2フリー水素製造（製鉄業界へ提供）

JAC型 高効率ガスタービン

水素ガスタービン

次世代軽水炉

BESS: Battery Energy Storage Systems

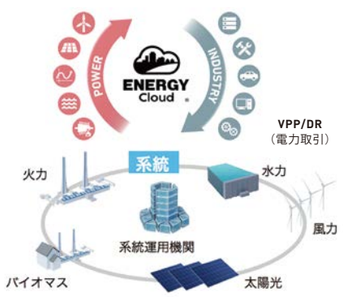
STEP2：産業用エナジーの効率的な活用

AI技術で最適なソリューションを

発電技術のみならず、市場全体のエナジー消費量を最小化するマネジメントも不可欠です。当社グループが関わる製鉄や化学工場などの基幹産業に対しては、独自AI技術を適用し、熱・電力の需要予測や最適運営のソリューションを提案。お客様の収益改善と市場の脱炭素化を支援します。

◆AI技術で現場データ活用し産業顧客の脱炭素化・最適化を支援

・既存アセットの生産効率改善と燃料転換支援
・電力市場取引活用による再エネ利用拡大、余剰電力の有効活用



STEP3：カーボンリサイクルの推進

CO_2を回収・活用するという発想

CO_2を削減するだけでなく、回収・貯蔵し（CCS）、さらに利用する（CCUS）カーボンリサイクル事業はカーボンニュートラルの要です。当社グループではCO_2回収プラントで回収してから、液化・貯蔵・圧縮し、肥料プラントで培った技術で利用するまで、バリューチェーン全体を構築しています。

CO_2バリューチェーンへの事業拡大	◆更なる技術開発で、CO_2回収分野の当社優位性を拡大 ◆回収後のCO_2転換利用のバリューチェーンに参入

CO_2回収プラント

LCO_2輸送船

コンプレッサで圧縮

CO_2液化

ガスホルダに貯蔵

肥料プラントで利用

CCS: Carbon dioxide Capture Storage
CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage

STEP4：水素バリューチューンの構築

一次エナジー　水素製造　輸送・貯蔵　利用

世界のパートナーと水素社会を築く

未来のエネルギーの核となるカーボンフリー水素について、一次エナジーの供給から製造～輸送・貯蔵～利用に至るまで、新たな水素バリューチェーンの構築を図ります。当社グループの先端技術を活かして、ノルウェーなど国内外のパートナーと協力関係を築き、水素社会の実現を目指します。

水素バリューチェーンの構築	◆水素製造から利用までの技術・製品・サービス提供によるインフラ確立とコストダウンへの貢献 ◆独自技術に加え、積極的な他社とのパートナリングによるバリューチェーン構築

数字からみる三菱重工グループ

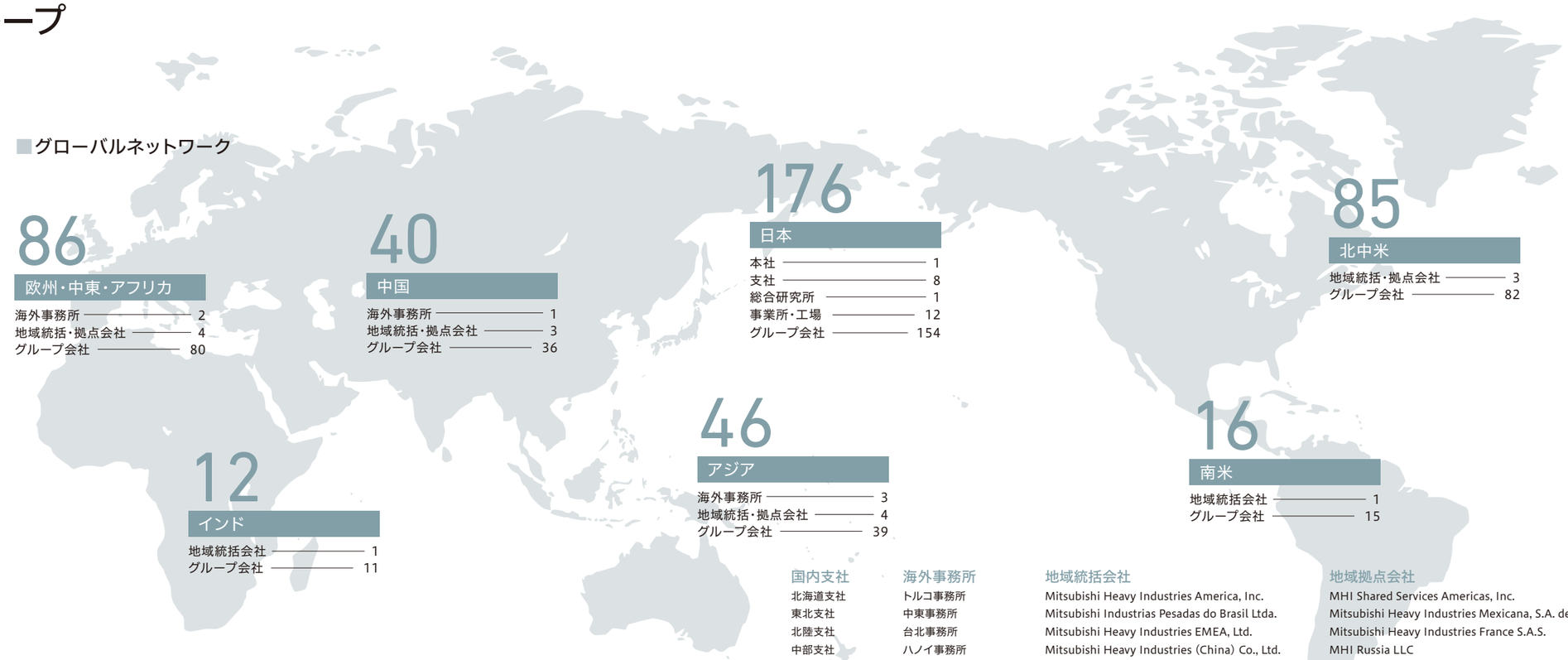
地球をステージに働く！
グローバルに活躍できる

三菱重工グループの海外の拠点は190社。国境を越えて全世界に仕事の場が広がっていますので、語学力や異文化コミュニケーション能力を活かしてグローバルに活躍したいと思われている方にはピッタリ。海外案件も多いので、若手を積極的に海外プロジェクトに登用する企業の精神が息づいています。

海外グループ会社数(連結)

190社

グローバルネットワーク



86 欧州・中東・アフリカ
- 海外事務所 2
- 地域統括・拠点会社 4
- グループ会社 80

40 中国
- 海外事務所 1
- 地域統括・拠点会社 3
- グループ会社 36

12 インド
- 地域統括会社 1
- グループ会社 11

176 日本
- 本社 1
- 支社 8
- 総合研究所 1
- 事業所・工場 12
- グループ会社 154

46 アジア
- 海外事務所 3
- 地域統括・拠点会社 4
- グループ会社 39

85 北中米
- 地域統括・拠点会社 3
- グループ会社 82

16 南米
- 地域統括会社 1
- グループ会社 15

国内支社
北海道支社
東北支社
北陸支社
中部支社
関西支社
中国支社
四国支社
九州支社

海外事務所
トルコ事務所
中東事務所
台北事務所
ハノイ事務所
ホーチミン事務所
クアラルンプール事務所

地域統括会社
Mitsubishi Heavy Industries America, Inc.
Mitsubishi Industrias Pesadas do Brasil Ltda.
Mitsubishi Heavy Industries EMEA, Ltd.
Mitsubishi Heavy Industries (China) Co., Ltd.
Mitsubishi Heavy Industries India Private Ltd.
Mitsubishi Heavy Industries Asia Pacific Pte. Ltd.

地域拠点会社
MHI Shared Services Americas, Inc.
Mitsubishi Heavy Industries Mexicana, S.A. de C.V.
Mitsubishi Heavy Industries France S.A.S.
MHI Russia LLC
MHI Technologies S.A.E
Mitsubishi Heavy Industries (Shanghai) Co., Ltd.
Mitsubishi Heavy Industries, (Hong Kong) Ltd.
Mitsubishi Heavy Industries (Thailand) Ltd.
PT Mitsubishi Heavy Industries Indonesia
MHI Australia, Pty. Ltd.

グループ会社数は連結会社、非連結会社、関連会社の合計です(2021年3月31日現在)
国内支社、海外事務所、国内事業所および工場は、三菱重工業(株)の拠点を掲載しています

国内事業所・工場

国内グループ会社数(連結)

67社

グループ企業の連携でさらに競争力アップ！

3ドメイン4セグメントの事業体制により、製品のインテグレーションを図り、新しい領域の開拓や既存事業の組み合わせを通じた事業開発にも取り組み、成長戦略の推進を一層加速。社会的価値や外部環境の変化に対応しつつ、グループのシナジー効果を発揮して、収益力およびグローバル市場での競争力をさらに強化しています。

全グループ員とともに事業の成長・拡大を

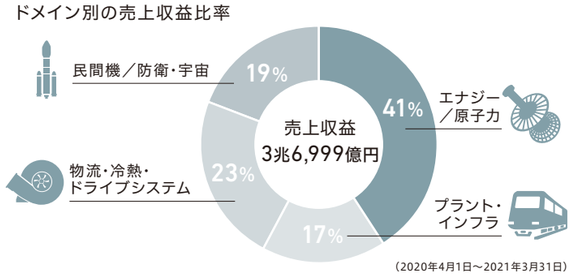
売上収益は成長性・収益性の高い事業へ経営資源を投入し、事業の成長・拡大を実現。
ものづくりの情熱を共有する約8万もの仲間たちが、世界中で活躍しています。

売上収益(連結／IFRS)

3兆6,999億円

(2020年4月1日～2021年3月31日)

ドメイン別の売上収益比率



(2020年4月1日～2021年3月31日)

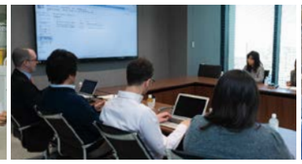
国内／海外グループ会社 社員数(連結)

78,880人

国内・海外グループ会社数(連結)および社員数(連結)は、2021年9月30日現在のものです。

三菱重工グループのプロジェクトの流れを知る

技術系と事務系がタッグを組んでプロジェクトに挑む



プラントプロジェクトの一例です

プロジェクトの流れ

01 案件検討
営業担当がお客様のニーズを収集・分析

02 見積計画・提出
営業や資材調達、経理・財務、法務、設計が連携し見積と条件を確定

03 契約交渉
基本設計案、技術資料、見積を提出し、契約交渉を実施

04 受注（契約）
お客様との間で契約書を締結し、いよいよスタート！

05 詳細設計
設計担当が営業や資材調達と連携し、必要な材料・形状を決定

06 資材調達
資材調達担当が設計担当の依頼をもとに資材を製造部門に納入

07 製造
重要機器を事業所で生産高い技術力と品質の高さが発揮されるフェーズ

08 輸送
各事業所で製造した機器や世界中から調達した資材を建設現地に輸送

09 現地工事
輸送された機器や装置を据え付け、建設開始

10 試運転
多岐にわたる試験を実施引き渡し後の稼働に備え現地スタッフの教育も

11 引き渡し
製品が無事稼働すればプロジェクトのゴール！喜びの瞬間です

12 アフターサービス
引き渡し後も継続して製品に関わり顧客満足度をアップ

技術系社員

- 研究開発
- 設計
- 生産技術・管理
- 現地建設
- 品質保証
- システム開発
- 知的財産

事務系社員

- 営業
- 資材調達
- 資材調達
- 経理・財務
- 法務
- 人事・労政、総務

■技術系社員の職種と役割解説

●研究開発
専門的な知識と三菱重工グループの技術力を活かして、新技術・新機種開発の立案から具体的な推進、フォローまで行います。

●設計
概念的な設計を行う基本設計、実際のものづくりに直結する詳細設計、全体を把握・コントロールするプロジェクト設計を行います。

●生産技術・管理
生産戦略の立案、機械・機器の導入、工程管理に加え、製造工程に必要な加工技術や生産システムの研究・開発などを行います。

●現地建設
海外を含む現地で、各機器や設備を建設する場面で、工事計画の立案から行程管理・安全管理まで、技術向上に関する仕事を行います。

●品質保証
設計、製造段階での品質管理をチェックし、製品クレームをなくしたり、さらなる品質向上に向けた活動や検査業務なども行います。

●システム開発
最先端ＩＣＴ技術を駆使し、製品・製造の知能化・高機能化を実現するとともに、情報セキュリティの強化、ITインフラ整備などを行います。

●知的財産
三菱重工グループの製品について特許・意匠・商標の権利取得や官辺手続き、他社との交渉・訴訟などの渉外業務を担当します。

□事務系社員の職種と役割解説

●営業
提案・受注活動からアフターサービスまで、三菱重工グループの技術をビジネスに結び付け、プロジェクト全体のとりまとめを行います。

●資材調達
プロジェクトに必要で最適な材料・部品を、予算内の価格で、必要なタイミングに合わせて調達します。新たな調達先の開拓も担当します。

●経理・財務
プロジェクトのコスト管理および損益予想など、会計や税務などの専門知識をもとにプロジェクトを支えます。

●法務
お客様との契約交渉・リスク管理・紛争解決訴訟の解決など、法的側面からプロジェクトの成功をサポートします。

●人事・労政
人事制度の策定・運営や社員の採用・教育、労働組合との協議など、「人」に関する業務を行い、安心して働ける環境づくりを支援します。

●総務
事業所・工場などにおける資産や社規則・文書など、全体の事務処理や管理を行うほか、環境・エネルギー保全も担当します。

三菱重工グループの足跡をたどる

明治、大正、昭和、平成、そして令和に生きる

時代とともに歩み、日本と世界の最先端をリードし続けてきた挑戦の軌跡。
130年以上の歴史と実績に基づいて、さらに新時代へと飛翔します。

1884 – 1945年
造船業をベースに輸送インフラを製造

明治17年（1884年）、創業者である岩崎彌太郎が工部省の長崎造船局を借り受けてスタートした三菱重工のものづくり。日本初の鉄製汽船をはじめとする技術力を活かして重機、航空機、鉄道車両など事業の裾野を拡大。不安な世界情勢の下、当時最先端の技術は軍需でも活用される時代でした。

1946 – 1963年
戦後復興を支える民生品の世界へ

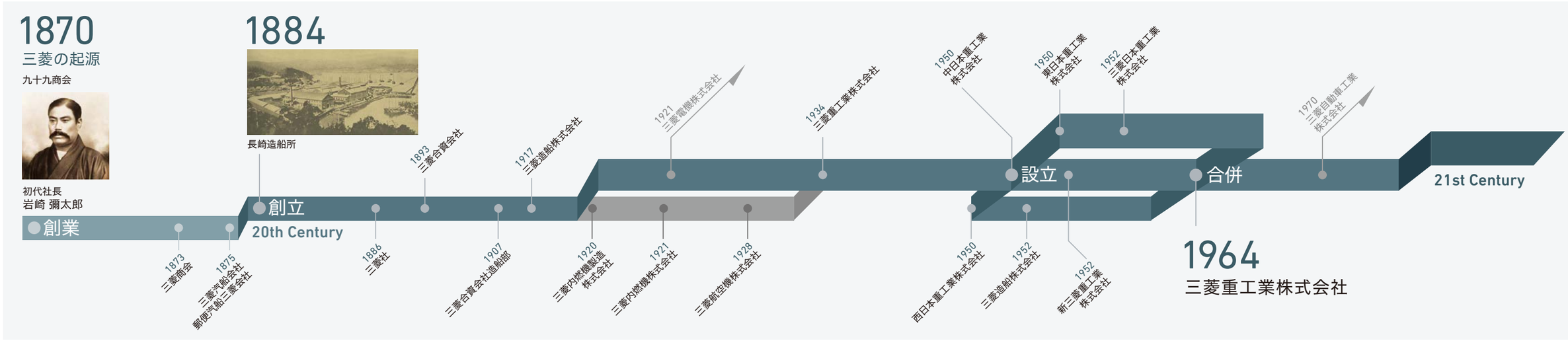
戦後はスクーターやエアコンなどさまざまな民生品の開発・製造に軸足を移し、日本の復興を支えました。1950年、GHQの財閥解体方針により3社に分割されると、製品規模もより拡大・多様化し、さらに技術競争力が強化。後の重厚長大産業のリーディングカンパニーに成長する礎となりました。

1964 – 1990年
3重工合併により、大規模開発事業へ

東京オリンピックが開催された1964年、分割された3社が再度合併し、現在の三菱重工グループとして再スタート。取り扱う製品も、石油掘削リグ、発電プラント、タンカー、橋梁、さらにH-Ⅰロケット打上げ成功など、事業フィールドは陸・海・空から、さらに宇宙へと広がっていきます。

1991年 –
持続可能な社会を支える、総合インフラ企業へ

環境保全の気運が高まり「エコロジー」という概念が一般化する中、ガスタービン、エコシップなど、常に高効率を求めてきた三菱重工グループの製品は地球規模でますます進化。グローバル化や情報化など変化する世界のニーズに対応しながら、総合インフラ企業として「持続可能な社会」を支えます。



日本初や世界初がたくさん！ 革新的な三菱重工グループの製品。

1887 日本初
日本初の鉄製汽船「夕顔丸」建造

1908 日本初
造船史に残る1万総トンを超えた日本初の大型客船「天洋丸」建造

1918
三菱A型乗用車製作

1968 国産初
国産初の50万kW超臨界圧ボイラ「中部電力知多3号機1,700t/h」完成

1970
PWR原子力発電プラント「関西電力美浜1号機」運転開始

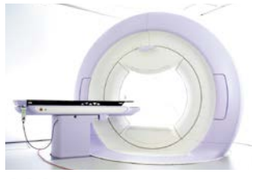
1970 日本初
日本初、通勤路線用懸垂型モノレール「湘南モノレール」開通

1985 世界最大級
世界最大級コンバインド発電プラント「東北電力、東新潟3号機第二系列545,000kW」完成

1986
H-Ⅰロケット初号機打上げ成功

1989 世界最深度
世界最深度潜水調査船「しんかい6500」引渡し

1999 日本最長
日本最長の斜張橋「多々羅大橋」完成



2004 世界初
世界初、高精度四次元放射線治療装置を開発

2009
宇宙ステーション補給機「こうのとり」HTV初号機打上げ成功

2011 世界最高効率
世界最高効率のJ形ガスタービンが実証運転で世界最高のタービン入口温度1,600℃を達成

2015
Mitsubishi SpaceJet（旧MRJ）飛行試験機初号機による初飛行を実施

2016 世界最大級
米国で世界最大級CO_2回収プラント（原油増進回収用）完成

2019 世界最大級
カタールで全自動無人運転都市鉄道「ドーハメトロ」が運行開始（単線地下鉄・都市鉄道）

働くあなたをしっかりサポートする充実の制度！

充実した社員教育プログラム

三菱重工グループは、社員一人ひとりが、能力を最大限に発揮し、仕事を通じて社会に貢献できるような人材に成長していけるよう、充実した社員教育プログラムを用意しています。人材育成の中心となるOJT（職場内教育）を軸に、「各種研修によるOff-JT」と「自己啓発」を効果的に行い、個々の適性・キャリアに合わせて、長期的な育成をサポートしています。

三菱重工グループの教育体系

階層別研修
キャリアや役職に応じて必要な知識を身につける研修

- ●新任部長研修
- ●新任課長研修
- ●新任主任研修
- ●キャリアデザイン研修
- ●新入社員教育

グローバル研修
グローバルに活躍できる人材となるための研修

- ●各種語学研修
- ●異文化間コミュニケーション
- ●グローバルマネジメント研修
- ●若手海外派遣
- ●海外留学

スキル研修
仕事をする上で必要なスキルを身に付ける研修

- ●技術教育（機械系・電気系・IT系 等）
- ●職種別教育（営業・経理・調達 等）
- ●ビジネススキル教育（問題解決研修、PCスキル研修）

通信教育の受講料補助制度や、提携する大手英会話教室の割引制度など、幅広い分野で自己啓発を奨励しています。

［ 新入社員教育の概要 ］

「自律的に成長できる人材」となるための基礎固めの期間として、入社後２年間は、育成担当者（指導員）を中心に計画的なOJT・Off-JTを行います。

新入社員教育期間（入社後２年間）

入社

↓

新入社員導入教育（４月）
- ●三菱重工グループ社員になることへの意識づけ
- ●ビジネスマナー等、社会人として基礎的なビジネススキルを習得

↓

職場配属

↓

職場によるOJT
- 育成担当者制度
- 各種Off-JT（英語研修、フォローアップ研修 等）
- 新入社員論文／業務レポート

［ 研 修 施 設 ］

名古屋にある研修センターにて、社内外の講師やオリジナルテキストによる実践的な研修を約200種類、年間500回以上実施しています。

安心の福利厚生でワーク・ライフバランスを

三菱重工グループでは、社員一人ひとりが安心して働き、豊かな人生を楽しめるようにサポートしています。そのために、結婚や出産などのライフイベントがあってもキャリアを中断させない環境を手厚く整備。さらに、寮・社宅といった福利厚生施設、財産形成支援制度、クラブ活動なども充実しています。

女性が活躍しています！

女性をサポートしています

2007年認定事業主

三菱重工は「えるぼし」「くるみん」の各認定を取得しています。

仕事と家庭の両立を支援する各種制度

社員それぞれのライフステージで、仕事と出産・育児・介護などとの二者択一を迫られることなく働き続け、キャリア形成できる環境を整えています。出産・育児休業はもちろん、在宅勤務制度など働き方の面でも手厚い制度でサポートします。

■ は男女問わず利用できる制度です。

	結婚	育児	満３歳	小学生	中学生
育児		チャイルド・プラン休業…不妊治療のための休業を認める制度です。			
		8週間 8週間 +2週間 …産前産後の不就業（女性のみ） 産前産後８週間ずつ休業できます。妊娠・出産に起因する疾病の場合は、前後に通算２週間プラスできます。			
		出産休暇（男性のみ）…妻が出産するとき、出産の前日から２週間以内の期間に５日以内の範囲で取得可能です。			
		育児休業…子が３歳まで取得可能です。分割可能です。			
		育児勤務…子の中学校入学まで取得可能です。			
		子の看護等のための不就業…子の中学校入学まで取得可能です。			
働き方		在宅勤務…在宅と出社の併用勤務も可能です。			
		時間単位年休…1～2時間単位で休業を取得可能です。			
		キャリア・リターン制度（再雇用制度）…出産、育児、配偶者転勤などを理由とした退職者に再入社の道を開く制度です。			
		配偶者の海外赴任に伴う休職制度…６ヵ月以上４年以内で取得可能です。			

育児後の復職率は98%、女性も活躍中！

男性の育児休業・勤務の取得者数が、ここ数年で大幅にアップ。女性も子育て後に復帰してキャリアを築いている先輩がたくさん。男女問わず、さまざまな制度を積極的に活用して、家庭と仕事を両立させています。

育児に関する制度を取得した人数 ››››

	2018年				2019年				2020年			
育児休業	男性	71名	女性	217名	男性	148名	女性	187名	男性	284名	女性	184名
育児勤務	男性	270名	女性	515名	男性	288名	女性	409名	男性	324名	女性	410名
在宅勤務	男性	291名	女性	211名	男性	2,821名	女性	677名	男性	5,554名	女性	947名